

共同生活住居の訪問と地域連携推進会議日程

10:00 ちいろば園集合

※本法人の車両に乗り合わせて、共同生活住居 5 ヶ所を訪問します。

10:00～10:50 「日之出荘」「すみれ荘」見学

11:00～11:20 「エンゼルハウス」見学

11:30～11:50 「にぬふぁ星」見学

11:55～12:05 「ユイマールⅡ」見学

12:15～ ちいろば園「ドンキー」で昼食

休 憩

※「ドンキー」でみなさまの昼食を用意させていただきます。

※ちいろば園会議室で会議を開催します。

13:00～15:00 「第 1 回 地域連携推進会議」

社会福祉法人ちいろば会
第 1 回 地域連携推進会議 次第

2026 年 1 月 21 日
ちいろば園会議室

- 1 参加者紹介
- 2 訪問を終えての感想と評価
推進委員のみなさんからの質問、感想と評価
- 3 共同生活援助事業（グループホーム）の歴史と現状と課題
資料 1 参照
質疑応答

ーコーヒーブレイクー

- 4 グループホームでの暮らしについて
グループホーム世話人から説明
入居者からの意見
質疑応答
- 5 地域との連携について
地域との連携についての議論

議事録

事業管理者	SV	報告者
		

報告日	2026 年 1 月 30 日		
会議の名称	☐ マンスリーミーティング ☐ 職員会議（園） ☐ ケアホーム会議 ■ 2025 年度 第 1 回地域連携推進会議		
開催日時	2026 年 1 月 21 日（水）		
進行	奥田	記録者	米田
出席者	橋本（三郷町民生委員）、不二門（ちいろば会評議委員）、中岡（他法人のグループホームすばるの職員）、関本（三郷町福祉課職員）、阿波（利用者 家族）、梅田（利用者 家族）、濱野（利用者 家族）、松村（利用者 家族）、西村（グループホーム利用者）、吉井（グループホーム利用者）、梶原（グループホーム利用者）、辰巳（グループホーム職員）、忠澤（グループホーム職員）、米田（グループホーム職員）、奥田（ちいろば園職員）、富田（ちいろば会理事長）		
参加者自己紹介	●別紙添付 参加者 16 名		
午前の各ホームの訪問を終えての感想と評価	●委員の皆さんからの質問、感想と評価 中岡委員・・・それぞれのグループホームの部屋もきれいで階段も工夫されていてよかった。空調の集中管理が良い。それぞれ個性的な部屋で楽しそうに暮らされているんだなあと感じた。 不二門委員・・・初めてちいろば会のグループホームをみて家庭的な雰囲気が良いなと思った。入所施設の万葉荘園にも見学に行ったことがあり、入るとすごいにおいがあった。消毒のような鼻につくにおいだった。ところが今日見学したちいろばのグループホームは普通の家で家庭的で良いなと思った。ホットした。 橋本委員・・・うちの家よりはるかにきれい。すみれ荘の引き戸は車いすの人に使いやすい。空調の設備も良かった。 富田委員・・・扉の設置が一番難しいところ利用者は開閉はしっかりしている 扱いも強い人がいる、レールが壊れやすい。扉の工夫が簡単そうで難しい。 関本委員・・・リビングからトイレなどの動線がきちんとされている。日当たりも良い。気持ちも明るくなりますね。 阿波委員・・・最初入居したときドアを壊したことを思い出しました。大和高田からちいろばのグループホームを利用させてもらっています。私も介護の仕事をしていていろいろな施設やグループホームを見てきたがここを選んでよかったなあと思った。私も高齢で動けなくなったらどうしようかと思う。 濱野委員・・・今日ちいろば会のグループホームをみせてもらってすみれ荘の設備が		

	整っていて、バリアフリーですみれ荘に入居できてよかったと思う。職員の手が入っているのが印象、他のホームは自立している人も多くそれぞれの部屋が個性があってよかった。家庭的だ。職員の部屋がなんとかならないのかと思った。職員の待遇改善も今後の課題かなあと思った。考えていかないと長くつづかないと思った。 梅田委員・・・入居者ファースト、入居者中心にかんがえてもらっているなあと感じた。うちの子供も人の部屋に入ったりしてと思うが・・・ダメだと印をしてくださっておりありがたいと思う。本人もどんなにしんどくてもちいろばへ行く?と言ったらリュックを背負って行こうとする。子供の気持ちがわかった。 松村委員・・・本人の部屋がきれいでびっくりした。実家にいたときは部屋がゴミ屋敷状態だった。強いて言えば日之出荘の勝手口のドアが車いすの方には狭い、フロアがすべる、エンゼルハウスの玄関の高さが高い。他はない良くやってくれていて感謝しかない。 富田委員・・・にぬふぁ星の横にグループホームが増えたら利用者を5人にして1室職員の部屋にできたらと思うがなかなかできないのが課題。 家族委員から三郷町福祉課関本委員へ・・・にぬふぁ星の横の急な坂道、町でなんとかできないのか?考えてもらえないか? 関本氏・・・。
共同生活援助事業(グループホーム)の歴史と現状と課題	●富田委員より説明 別途添付資料参照 ●質疑応答 濱野委員・・・通院介助についてちいろばの職員にも負担家族も負担、時間の制限や通院先によっては地域も決まっています奈良市の病院は利用できないと町から言われた。 奥田委員・・・三郷町は厳しい(時間)奈良なんかは電車では通院しにくいところもあるヘルパーが車で通院したら運転中は算定できないと言う。そうなるとどこのヘルパーも受けてくれなくなる・・・でもなんとか受けてくれるところをさがさないといけない。時間数も足りない。そしたら移動支援を使うように言われた。それを使えば休日の外出ができなくなる。だからといって移動支援の時間も増えるわけでもない。それって間違いない? 三郷町関本委員・・・間違いないです。課題でもある。サービスが必要な人には支給を検討しないといけない。今後必要なら支給決定していく。 富田委員・・・不必要なサービスを使っている実態もあるのでみきわめが必要。 中岡委員・・・河合町から65歳になったら介護保険を優先しろと言われる。介護保険では居宅介護も利用できない。グループホームも出ていかないといけないのか!これまで長い間住んでいた人がグループホームを出ていかないとアカンと言われる

	と怖い。 富田委員・・・それに関しては三郷町は意外と柔軟ですね。 中岡委員・・・行政は担当者が変われば考えも変わる。通院介助にしても通院証明の提出期間もバラバラや慢性的な病気でないとダメと急に言われたり、通院で注射で付き添いが必要な方に診断書に注射は一人では受けられないと書いてもらい提出するように言われる。・・・行政にももっと考えてもらいたい。 不二門委員・・・グループホームなどのサービスを受けるときどこの町が支給決定するの？ 富田委員・・・居住地特例によりグループホームの入居直前の居住地の市町村が支給決定してサービス料を支払わなければならないことになっている。住所が変わったとしてもその住所地がサービス料を支払わなければならない。もし住所変更してその地に集中したら市町村の予算がもたないから。
休憩	～ コーヒーブレイク ～ ・親がいなくなったらなんとかしないといけない ワンルームマンションの利用など ・職員ひとりで6人の利用者をみるの変だと思う ・職員の人の入れ替わりも多い ・グループホームに入居前はあんなにことこんなことしてくれないと思ったことあるけど実際 中をみたらできない、大変だと思う。 ・職員はどんな勤務・・・タ 16:30～翌朝 10:30 ・泊り専属の人も2日/週 アルバイト勤務 ・常勤は拘束時間は18時間 労働時間は16時間と一日日勤で40時間/週 ・すみれ荘と日之出荘は朝と夕は2人態勢で支援。
グループホームの暮らしについて	各グループホーム世話人から説明 ●入居者の意見 吉井委員・・・グループホームでは訪問看護、リハビリを利用し看護師や理学療法士にも来てもらっている。ちいろば園の休日の日はヘルパーさんと一緒に外出するなどしている 西村委員・・・西村さんも一緒に訪問看護やリハビリを利用し来てもらっている。最近休日はヘルパーと外出するようになった。まだ短い時間の外出でお昼を食べに行くなどで利用している。西村さんの移動支援も初め斑鳩町からヘルパー2人体制はできないと言われた。またトイレに行く時間だけ二人体制と算定しろと言われたが なんとか2人体制で支給決定してもらえた。20時間だけ。 梶原委員・・・休日は散歩に行ったり、ジュースを買いに行ったり出かけるなどしています。洗濯物の片付けもしています。がんばっている。朝機嫌がわるいときがあります。

地域との連携について

●地域との連携について議論

奥田委員・・・自治会との交流について・・・秋の交流行事でおとしクッキーの販売にちいろば園から行かせてもらったが昨年は運動会やグループホームの帰省もかさなり参加できなかった。できれば今後も参加していきたい。

橋本民生委員・・・ビールなど販売していた。また 参加してください。

米田委員・・・エンゼルハウスは毎年民生委員の方からもお誘いいただき秋に自治会の防災訓練のイベントに参加させてもらっている。

松村委員・・・BCPについて補助電源など災害時の緊急対応についてはどうなっているのか？

富田委員・・・計画の作成は必須でBCP計画を作成しないと減算の対象となるので作成しているが課題としてそれぞれのグループホームに応じたかたちの災害時の措置をかんがえなければならない。大阪府は市からも説明会などがある。補助金などの説明もあるが奈良県は一切ない。私も大阪からの情報によりBCP計画を作成している。グループホームにも補助電源を設置しなければならない。

松村委員・・・補助電源の情報があればお伝えします。

中岡委員・・・ちょっとした散歩なども地域との連携になる。挨拶はしようと言っている。地域の掃除や草ひきもしている。

奥田委員・・・ちいろば園では行事に民生委員の方や学校の先生などボランティアで参加してもらっている。三郷町の小学校の見学も毎年ある。グループホームではここに住んでいる人だと認識してもらうために休日などに散歩など外出の機会を増やしていくことも必要。

社会福祉法人ちいろば会
地域連携推進会議推進委員名簿

2026年1月開催分

所 属	氏 名	参加要件
三郷町民生委員	橋本 政明	地域の関係者
ちいろば会評議員	不二門 雅代	福祉に知見のある方
特定非営利活動法人西和地域生活を考える会（グループホームすばる）	中岡 京子	経営に知見のある方
三郷町住民福祉課	関本 雅史	所在の市町村担当者
ちいろば園家族会	阿波 みさ子	利用者の家族
ちいろば園家族会	梅田 敬子	利用者の家族
ちいろば園家族会	濱野 秀代	利用者の家族
ちいろば園兄弟姉妹の会	松村 浩基	利用者の家族
日之出荘入居者	西村 周也	利用者
にぬふぁ星入居者	梶原 拓馬	利用者
すみれ荘入居者	吉井 紗枝	利用者
ちいろば会職員	辰巳 浩規	グループホーム職員
ちいろば会職員	忠澤 美緒	グループホーム職員
ちいろば会理事	米田 守	グループホーム職員
ちいろば会理事	奥田 陽子	ちいろば園主任
ちいろば会理事	富田 忠一	法人理事長